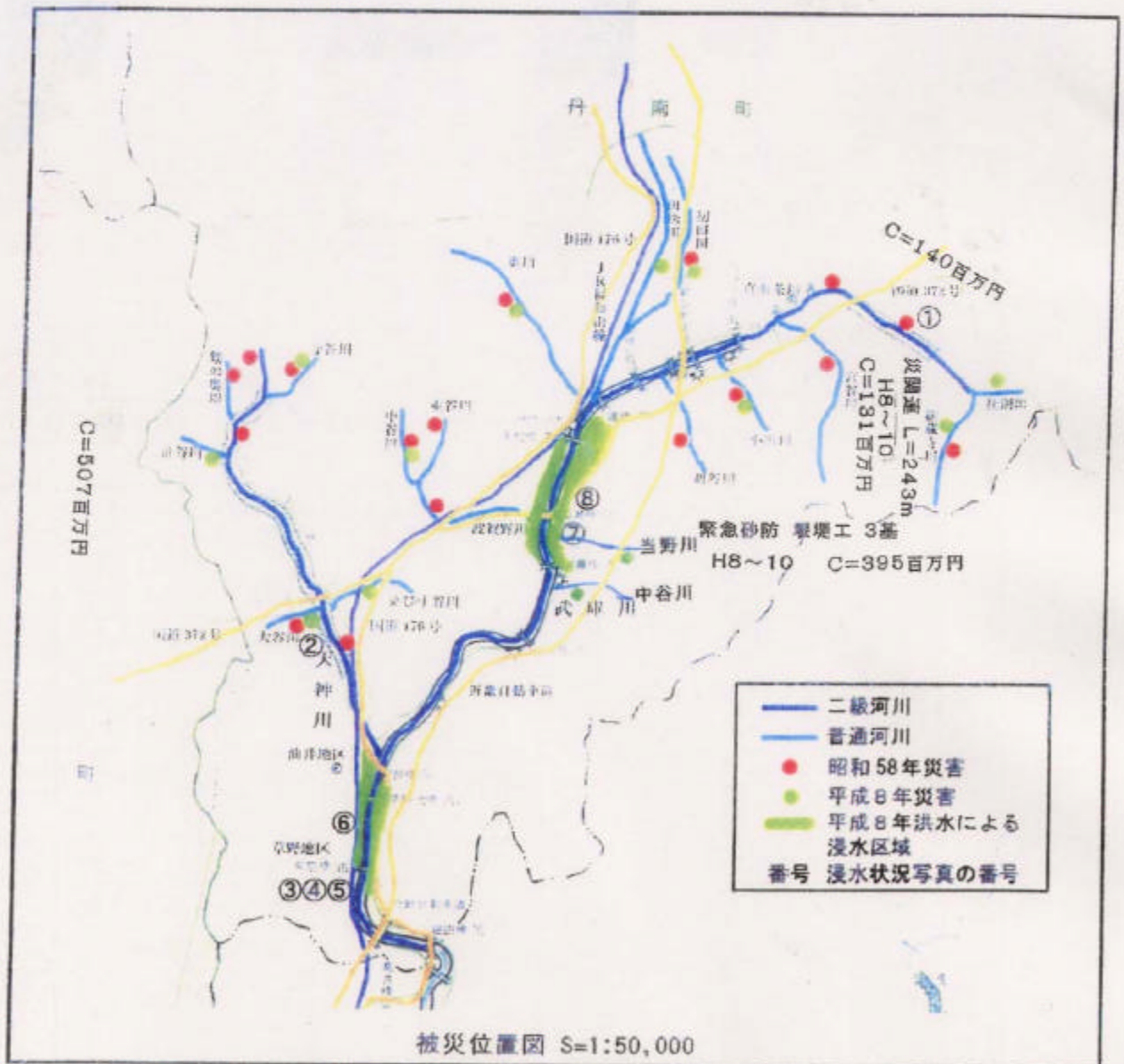


## 被災の状況

武庫川上流においては、昭和58年の台風10号により、武庫川本川や県管理及び丹南町管理の各支川で被害が発生した。これにより、天神川や真南条川などで災害関連事業による護岸等改修が行われたが、その後の洪水により被害が多発しており、近年においては、平成8年8月出水等で災害が発生している。平成8年洪水では天神川合流点下流に位置する丹南町草野地区や油井地区、波賀野川合流付近（山口橋～栗村橋）等で河川の溢水等被害が生じた。武庫川上流における被災位置は下図のとおりである。また、昭和58年、平成8年の災害の状況を次頁より示す。

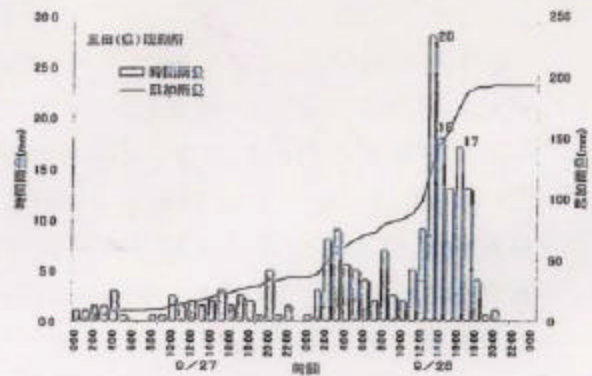


台風10号の進路及び秋雨前線の関係



洪水時の状況  
(S58.9.28)

台風10号による降雨記録

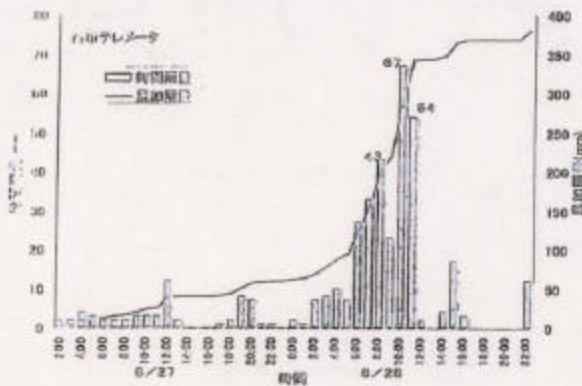


①真南条川(武蔵川上流)



②天神川

平成8年8月洪水(豪雨)時の降雨状況



平成8年8月洪水による被災状況

河川名	位置	被災状況
大谷川	丹南町古森	護岸(積ブロック)
妙楽寺川	◇ 油井	◇
えびす谷川	◇ 古市	◇
舟谷川	◇ 住山	◇
中谷川	◇ 当野	土砂掘削
奥川	◇ 南矢代	護岸(積ブロック)
一ノ谷川	◇ 南矢代	◇
浄蓮寺川	◇ 南矢代	護岸(コンクリート護岸)
初田川	◇ 初田	護岸(積ブロック)
田松川	◇ 大沢新	◇
小田川	◇ 真南条上	◇
龍蔵寺川	◇ 真南条下	土砂掘削
社別川	◇ 真南条上	護岸

(被災位置、各河川の位置は左図を参照)



写真③



写真④



写真⑤



丹南町草野地区

写真⑥



丹南町油井地区

写真⑦



船瀬橋より下流の状況

写真⑧

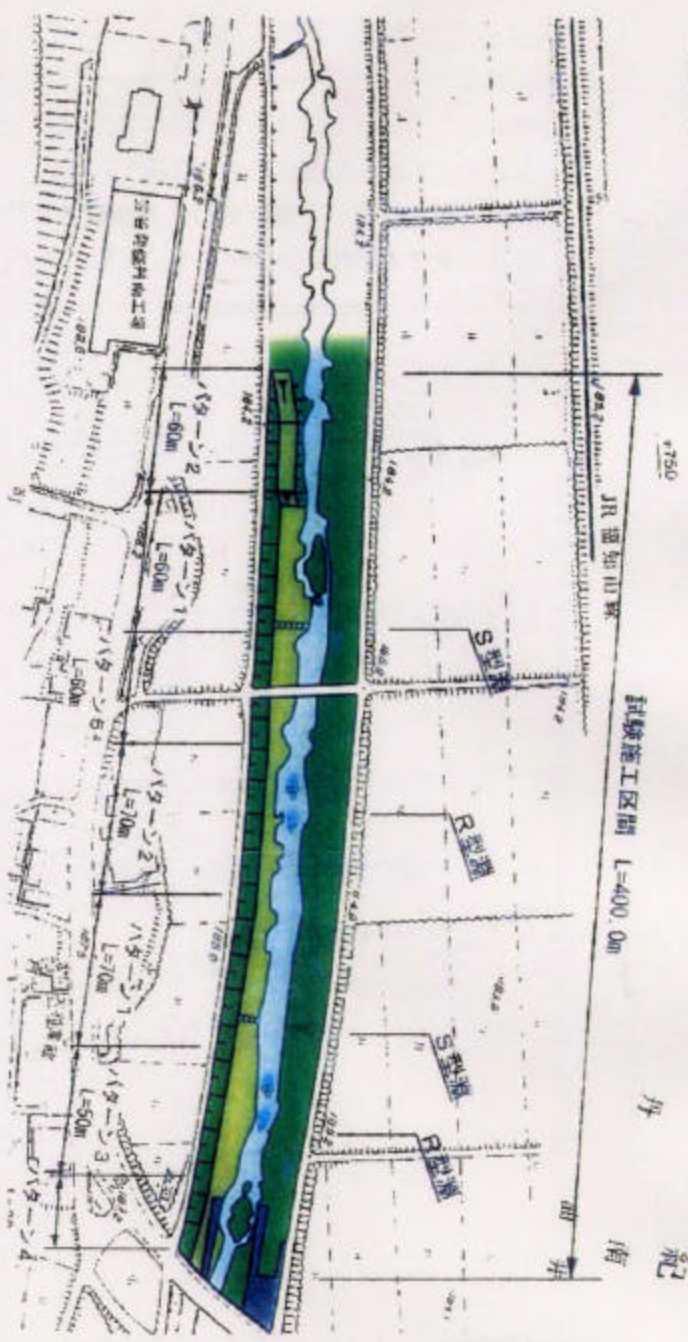


船瀬橋より上流の状況（篠山産業高校付近）

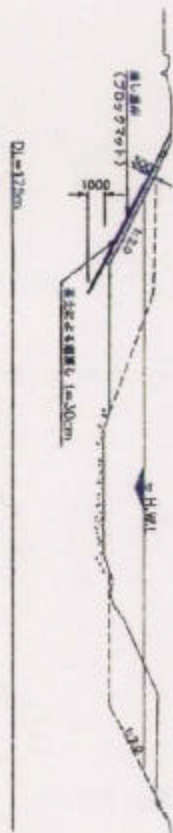




試験施工図



パターンの例 (パターン4)



D=1250m

措置のみ	芝無し	芝有り
表土埋戻し	パターン1	パターン2
表土と隠し覆岸	パターン3	—
表生土と隠し覆岸	パターン4	—
	パターン5	—

※試験施工のポイント

- ・橋梁の上下流30mについては護岸設置を行う(パターン4, 5を配置する。
- ・パターン3, 4は表土埋戻しを行う。
- ・溝筋部に護床工及び木杭を設置し、R型溝再生の効果を確認する。
- ・200m間隔程度で護床工による帯工を設置し、S型溝再生の効果を確認する。
- ・なお、帯工は1年目に掘削を行わない対岸側まで設置を行っておくものとする。
- ・2年目は、対岸について同様に施工を行う。



試験施工箇所状況写真



着手前の状況



平成14年度施工(左岸)



平成15年度施工(右岸)